

平成 16 年 5 月 7 日

JAバンクちょきんぎょ新作CMの制作・放映について

農林中央金庫

JAバンクではオリジナルキャラクター「ちょきんぎょ」のグッズをプレゼントするシーズンキャンペーンを毎年展開しています。今年の夏キャンペーンでは夏休みの子供たちの定番グッズである「虫かご」と「虫とり網」をセットにした「ムシとってちょきんぎょ」を開発し、下記のとおり2本の新作CMを制作しました。

「ムシとってちょきんぎょ」と新作CMが子供たちの人気と関心を集め、キャンペーンが盛り上がることを期待しています。

記

1 新作CMの内容（詳しくは別添資料をご参照ください）

- (1) 「ムシ会議」篇：虫の演技」で虫の本音を可愛らしくユーモラスに表現しました。
- (2) 「救出作戦」篇：虫の視点」による臨場感を演出しています。

2 放映予定

5月27日よりNTV系列・フジテレビ系列・TBS系列・テレビ朝日系列で順次放映を開始します。

以 上

この件に関するお問い合わせ先

農林中央金庫 広報部 担当：藺田・加藤

〒100-8420 千代田区有楽町 1-13-2 DNタワー 21（第一・農中ビル）

TEL：03-5222-2087 FAX：03-3213-5276

(資 料)

—JA バンク・ちょきんぎょ新作 CMの紹介—

今夏の新作CMは、虫かごと虫とり網「ムシとってちょきんぎょ」をモチーフに、「ムシ会議篇」(30秒&15秒)「救出作戦篇」(15秒)を制作、5月27日からフジテレビ・TBS・日本テレビ・テレビ朝日系列で順次放映を開始！！

JA バンクでは、地域の人々に親しまれ、ご利用頂ける“高い安全性と高品質の総合金融サービス”の提供を目指しており、主力商品・サービスのTVCMを制作・放映しています。JAバンク恒例の「ちょきんぎょキャンペーン」も9年目を迎え、今夏のプレゼントグッズは、子供たちに普遍的な人気がある“虫かごと虫とり網”をセットにした「ムシとってちょきんぎょ」を開発しました。

今夏のJAバンク「ちょきんぎょ」新作CMは、この「ムシとってちょきんぎょ」をモチーフに、「虫の演技」で虫の本音を可愛らしくユーモラスに表現した「ムシ会議」篇と「虫の視点」による臨場感を演出した「救出作戦」篇の2タイプを制作。5月27日から NTV 系列・フジテレビ系列・TBS 系列・テレビ朝日系列で順次放映を開始します。

新作 CMの内容は以下の通りです。

★新作CM「ムシ会議」篇

《ストーリー概要》

切り株の上に虫たちが集まって、何やら会議をしています。集まっているのは、カブトムシ・クワガタ・バッタ・蝶のさなぎ。そこにトンボが「緊急事態！」とやってきました。どうやら今年は大勢の子供たちが虫とりにやってくるとのこと。当然会議は、その対策を至急考えなければ、となるのですが、そこは個性ある虫たち。肝心の会議中に、カブトムシとクワガタが会議の進行役争奪戦の喧嘩を始めてしまったり、蝶のさなぎは勝手に羽化を始めた、それを見たバッタが感動して跳びあがったり…。そんな所に、虫かごとを持った子供たちが登場。虫たちは、一目散に逃げ出します。子供たちが持っているのが、今年のJAバンク夏キャンペーン商品である「ムシとってちょきんぎょ(網&カゴ)」。子供たちは、虫の気配に気づきながらも、発見には及ばずムシを探しつづけるのでした。

《制作エピソードー出演者探して四苦八苦》

撮影は、1月に行いました。ストーリーの山場となる、カブトムシとクワガタの決闘のシーン(進行役争奪戦)を撮るためには、当然双方がいなければなりません。ただ1月に、夏の虫であるクワガタとカブトムシがいるのか？全国の昆虫取扱い業者をくまなく探すところからスタートしました。結果、なんとか数匹のクワガタ・

カブトムシを見つけることができました。撮影では、クワガタの元気が良く、制作スタッフの指を挟むことが度々。そのため、制作スタッフは、指にバンドエイドを貼っての作業となりました。

★新作CM「救出作戦」篇

《ストーリー概要》

トップガンさながらの上空から急降下するカットからCMは始まります。その正体はカブトムシ。急降下したカブトムシは、森の中、木の間をすりぬけながら猛スピードで飛んでいます。すると前方に、虫網を持った子供たちが待ち受けている…。子供たちは飛んできたカブトムシを捕まえようと、網を必死で振り回しますが、カブトムシはそれをも軽快にすりぬけ、遂に目標物を発見。それは子供たちに捕らえられた仲間のカブトムシが入っている虫カゴでした。カブトムシは、その虫カゴに決死の体当たりをして、その拍子に倒れたカゴの扉が開き、捕まっていた仲間が逃げていく。上空に飛び立っていく逃げたカブトムシを、子供たちはただただ見上げて、「マジかよ…」と呆然とつぶやくばかり…。そんな、カブトムシによる救出劇を、SF映画さながらの迫力映像で演出しています。

《制作エピソードーカブトムシに演技指導はできません》

撮影は、やはり1月。真冬に、真夏の森で虫に演技をさせる。この企画を実現するために、ロケ地にタイを選びました。撮影現場に、タイにある一番大きなクレーンカメラを持ち込み、カブトムシが空から急降下して虫かごに突っ込むダイナミックな映像などを撮りましたが、演者は演技指導が通用しないカブトムシ。熱帯林を思わせる現場は、使えるカットを得るための長時間の撮影で、さらにヒートアップ。そんな中、カブトムシは涼しい顔(?)で、元気一杯ブンブンと飛び回っていました。さらに、帰国後に約3週間という長時間の編集作業の末、やっと映像が完成しました。

以上

■「ちょきんぎょ」の由来

古来、中国では、「金魚は幸運と富を招く魚」として信じられていました。

風水の説では、金魚はあらゆる災難を防ぎ、何事も円滑に進める力があるとされ、商人の中には「悪運」とされる方角に小さな金魚鉢を置いて「厄よけ」とする人もいます。

「ちょきんぎょ」はそんな金魚をモチーフに誕生した、J Aバンクオリジナルのキャンペーンキャラクターです。